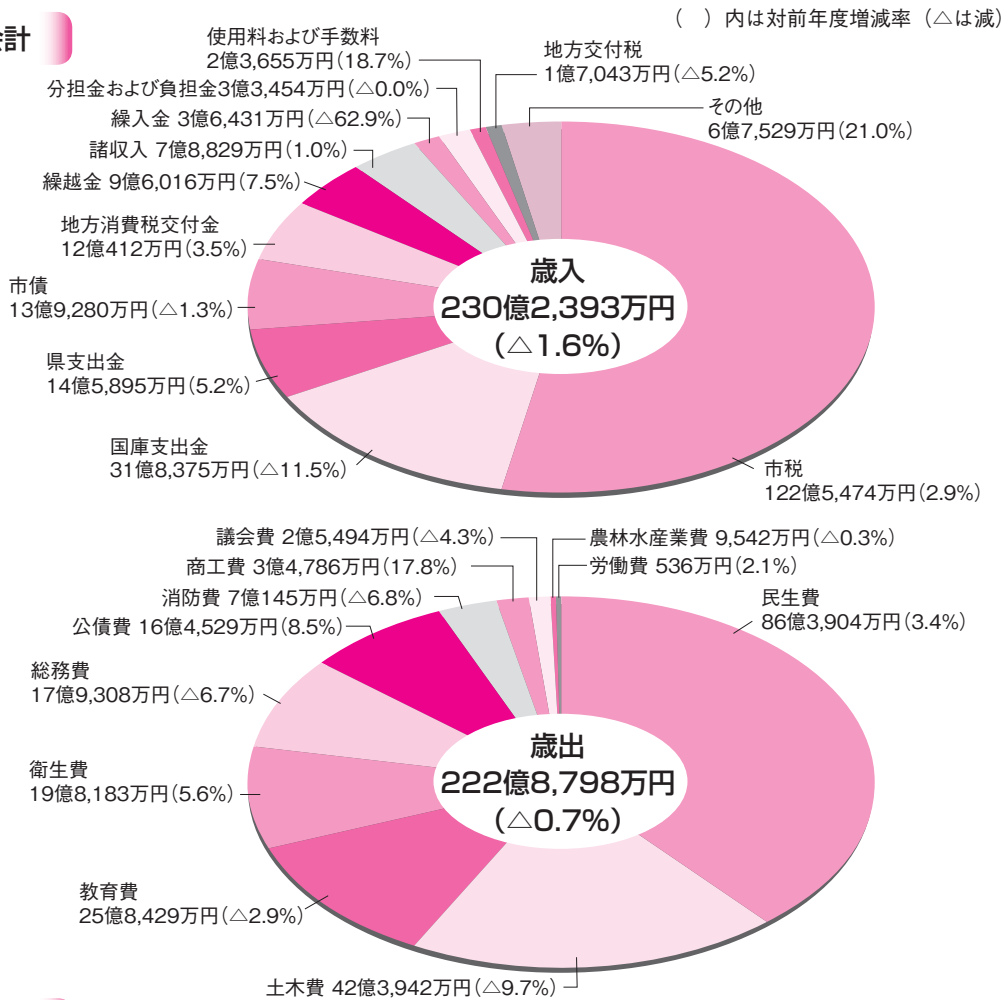


平成29年度 決算状況

一般会計



財政状況をお知らせします

平成29年度の決算状況や財産、市債の残高などをお知らせします。

▼問合せ 財務課 財政係 ☎(95)0146

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	60億4,477万円	58億1,757万円
公共下水道事業	20億1,803万円	19億5,879万円
土地取得	1,018万円	1,018万円
介護保険	31億4,775万円	30億6,656万円
後期高齢者医療	8億1,222万円	7億9,902万円
合計	120億2,195万円	116億5,212万円

歳入と歳出の差し引き7億3,595万円は平成30年度に繰り越しました。なお、平成30年度も普通交付税の交付団体となりました。

企業会計(水道事業)

区分	収入	支出
収益的収支	13億4,257万円	11億9,534万円
資本的収支	2億5,546万円	7億1,386万円

平成29年度の主な事業

- 総務費(事務管理、財産管理、防犯などに係る経費)
 - 男女共同参画プラン等策定事業 405万円
 - 多目的交流センター整備事業 929万円
 - コンビニエンスストア証明発行事業 1,667万円
- 民生費(生活保護、医療、手当、保育などに係る経費)
 - 高齢者ミニバス運賃無料化事業 478万円
 - 障害者相談支援事業 3,564万円
 - 老人福祉センター等改修事業 2,592万円
 - 来迎寺児童クラブ整備事業 8,697万円
- 衛生費(保健衛生、環境保全などに係る経費)
 - 住宅用地球温暖化対策設備導入促進事業 1,296万円
 - 不燃物分別作業場整備事業 2,735万円
- 商工費(商工業、観光事業の推進などに係る経費)
 - 中小企業再投資促進事業費補助事業 4,112万円
 - 観光交流センター設置事業 1,748万円
- 土木費(道路・橋・公園など都市環境の整備に係る経費)
 - 知立環状線整備事業 2,129万円
 - 知立駅周辺土地区画整理事業 6億1,521万円
 - 知立駅北地区市街地再開発事業 4億2,920万円
 - 知立連続立体交差事業 7億16万円
 - 知立連続立体交差関連事業 1億2,972万円
- 教育費(学校教育、小・中学校の施設整備などに係る経費)
 - 少人数学級事業 5,731万円
 - 小学校情報機器管理事業(デジタル教科書等) 2,773万円
 - 来迎寺小学校放課後子ども教室整備事業 8,987万円
 - 中学校保全事業(竜北中学校北棟校舎大規模改修) 3億1,277万円

市税の状況

税目		決算額	前年度比 (%)
市民税	個人	52億8,759万円	2.6
	法人	7億9,588万円	21.2
固定資産税		46億756万円	1.3
軽自動車税		1億2,549万円	6.8
市たばこ税		4億2,250万円	△3.4
都市計画税		10億1,572万円	1.2
合計		122億5,474万円	2.9

都市計画税充当事業	充当額
街路事業	7,059万円
公園事業	2,817万円
下水道事業	4億7,501万円
土地区画整理事業	1億9,980万円
都市計画事業関連の市債償還費	2億4,215万円
合計	10億1,572万円

※都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業の費用に充てることを目的とした税金です。

市債の状況

市債残高（平成29年度末）

266億3,526万円

（前年度比較 2億3,036万円減）

生活基盤となる道路、公園、下水道、学校などを整備するときに、国などから借り入れるお金です。市債には、将来的に利益を受けるであろう市民にも返済を負担してもらい、世代間の公平を図る役割があります。

平成29年度は市債残高が前年に比べ2億3,036万円減少しました。今後も将来の財政負担が大きくなるように慎重に事業を選択し、計画的な借入を行っていきます。

市有財産の状況

基金 45億8,989万円（前年度比較 3億9,491万円減）
土地・建物

区分	土地（面積）	建物（延面積）
行政財産	752,867.72㎡	159,052.46㎡
普通財産	46,369.22㎡	0㎡
合計	799,236.94㎡	159,052.46㎡

わが家の家計簿

この家計簿は市の決算額を420万円として年収420万円（月収35万円）の家計に置き換えて、市の収入・支出の状況を表したものです。

項目		H29	H28	市の決算科目
収入	給料	186,500	178,400	市税
	諸手当	30,200	27,600	交付税・地方譲与税・各種交付金・分担金負担金
	小計	216,700	206,000	
	親からの仕送り	71,000	75,000	国庫支出金・県支出金
副業収入	18,100	17,900	使用料・手数料・寄附金・諸収入	
資産の活用	1,700	900	財産収入	
銀行からの借入	21,200	21,100	市債	
前月からの繰越	14,600	13,400	繰越金	
預金の取崩し	6,700	15,700	繰入金	
合計	350,000	350,000		

項目		H29	H28	市の決算科目
支出	食費	55,800	53,800	人件費
	医療費	71,900	71,200	扶助費
	ローン返済	25,000	22,700	公債費（通常償還分）
	うち繰上返済したもの	0	0	公債費（繰上償還分）
光熱水費	59,500	60,000	物件費	
家の増改築や補修	54,800	59,500	投資的経費・維持管理費	
町内会費など	37,800	35,900	補助費等・出資金投資貸付金	
子どもへの仕送り	33,400	32,100	繰出金	
貯金	600	300	積立金	
翌月へ繰越	11,200	14,500		
合計	350,000	350,000		

健全化判断比率および資金不足比率

平成29年度決算に基づき、健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率をお知らせします（比率がない場合は、「-」となります。）。

1 健全化判断比率

指標名	各比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	12.92%
連結実質赤字比率	—	17.92%
実質公債費比率	2.9%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

実質赤字比率…一般会計等が黒字か赤字かを示す指標

連結実質赤字比率…全会計でみた場合の黒字か赤字かを示す指標

実質公債費比率…一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標

将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標

早期健全化基準…財政健全化への取り組みが必要となる基準値

2 公営企業ごとの資金不足比率

特別会計名	資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%

資金不足比率…企業の経営が黒字か赤字かを示す指標

経営健全化基準…財政健全化への取り組みが必要となる基準値

平成29年度決算における健全化判断比率は、いずれも国の基準である早期健全化基準を下回っており、さらに各公営企業の資金不足比率も経営健全化基準を下回っているため、これらの比率において知立市は健全であるといえます。